

教科等研究会（小学校外国語部会）

令和3年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

外国語の見方・考え方を働かせながら
楽しくコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

2 研究経過

第1回			第2回（中止）			第3回			第4回（中止）		
期日	人数	場所	期日	場所	授業づくり研修	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6/7	25人	益城中央小	8/24	益城中央小		11/5	龍野小	藤田沙織 教諭	1/27	御船小	灰本彩香 教諭 寺園光湖 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 研究テーマと研究の視点の設定及び研究組織づくり（期日：令和3年6月7日 場所：益城中央小）

ア 研究テーマと研究の視点の設定

今年度の研究テーマを「外国語の見方・考え方を働かせながら楽しくコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成」と設定した。そして、研究テーマに掲げる子どもの姿を実現するための授業づくりの視点を設定し、授業実践を行うこととした。

＜研究テーマに掲げる子どもの姿を目指すための授業づくりの視点＞

- (1) コミュニケーションへの興味・関心や意欲を高める単元の学習課題の設定
- (2) 外国語に十分慣れ親しんだり、知識・技能を定着させたりする活動の充実
- (3) 言語活動の充実
- (4) 振り返りの充実

イ 研究組織づくり

今年度は、部会内に次のような部を設置した。会員全員がいずれかの部に所属することで、研修の運営に参画できるようにした。

- 研究部・・・研修内容の企画、事前研への参加、研修の運営等の研究推進に関わる。
※メンバーは希望者で構成する。（今年度は6人）
- 中学年部・・・外国語活動の研究授業、授業研究会を運営する。
※メンバーは主に3・4年の担任で構成する。
- 高学年部・・・外国語科の研究授業、授業研究会を運営する。
※メンバーは主に5・6年の担任で構成する。

② 授業づくり研修（期日：令和3年8月24日 場所：益城中央小学校）→中止

夏季休業中の期間に、授業づくり研修を行うことを計画した。研修の中では、上益城教育事務所 井島あゆみ指導主事から講話をいただいた後に、2学期に龍野小で行う研究授業の単元の授業づくりを全員で行う予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、中止した。

③ 外国語科の授業実践（期日：令和3年11月5日 場所：龍野小学校）

今年度は、第6学年「Let's think about our food.」の授業実践を行った。総合的な学習の時間と連動することができる単元デザインがなされており、児童が単元のゴールに向かって意欲的に英語でやり取りをする姿が見られた。授業研究会では、成果と課題を出し合い、改善策までを話し合うことができ、学びの多い研修になった。

④ 外国語活動の授業実践（期日：令和4年1月27日 場所：御船小学校）→中止

第4学年「What do you want?」の授業実践を行うことを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて中止した。

(2) 成果と課題（成果○ ▲課題）

- 授業づくりの視点を明確にしたことで、授業実践の際に、それらを意識した指導の工夫がなされるようになった。
- 組織づくりを工夫したことで、部会員が協力し合って研修会を運営することができた。
- 授業実践では、単元のゴールとなる言語活動の設定や単元デザイン等にたくさんの工夫がなさ

れており、部会員に多くの学びがあった。

- ▲ 授業づくり研修が中止になったこともあり、外国語科の授業づくりの理論について学ぶ研修を充実させることができなかった。

4 実践事例（期日：令和3年11月5日 場所：甲佐町立龍野小学校）

(1) 授業の概要（授業者 甲佐町立龍野小学校 藤田 沙織 教諭）

本単元では、単元のゴールとなる言語活動として「甲佐町の魅力を伝えるために、おすすめ食材を使ったオリジナルメニューを紹介しよう」を設定した。この活動は、総合的な学習の時間で取り組む「甲佐町歴史パンフレット作り」と連動させた。さらに相手意識や目的意識をもたせるために、3学期の来校予定のALTの先生に、甲佐町の魅力を伝えるという単元の学習課題を設定した。学習課題の解決に向けて、児童は「どんな食材を取り上げ、どのように表現するとよいのか」を考えて選択した。そして「This is from ～. This is in the … group.」という表現を使って、食べ物の産地や栄養素などについて紹介する活動を行った。

本時では、食材の産地や栄養素について、これまで慣れ親しんできた表現を用いながら自分のオリジナルメニューを伝え合う活動を行った。慣れ親しんだ表現でやり取りするだけでなく、オリジナルメニューをより分かりやすく伝えるために、説明を付け加えたり反応をしたりして、自分なりに工夫しながら伝え合う児童の姿が見られた。



オリジナルメニューを紹介し合う児童の様子

(2) 学習構想案

① 単元構想

単元名	「Let's think about our food.」（東京書籍「NEW HORIZOZN Elementary」p50～59）		
単元の目標	(1) 食材の産地やメニュー名、栄養素などについて関連する語句などについて理解し、聞き取ったり話したりすることができる。[知識及び技能] (2) 自分がおすすめる甲佐町の食材やメニューを知ってもらうために、相手に伝わる工夫をしながら伝え合うことができる。[思考力、判断力、表現力等] (3) 自分がおすすめる食材やメニューについて、相手に伝わる工夫は何か考えながら話そうとしている。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「聞くこと」(ウ) 【知識】①「 <u>I ate～. I usually eat～. ～is from …～is in the …group.</u> 」およびその関連語句などについて理解している。 【技能】②食材を通じた産地のつながりやその栄養素などについて聞き取る技能を身に付けている。	「聞くこと」(ウ) 甲佐町の魅力を伝えるために『 <u>甲佐町のおすすめ食材や産地、オリジナルメニューなどについて</u> 』、短い話の概要を捉えている。	「聞くこと」(ウ) 「 <u>甲佐町の魅力を伝える食材の産地や栄養素、オリジナルメニューの紹介</u> 」の話の概要を捉えようとしている。
	「話すこと（発表）」(ウ) 【知識】①「 <u>同上</u> 」について理解している。 【技能】②「 <u>同上</u> 」を用いて自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。	「話すこと（発表）」(ウ) 『 <u>同上</u> 』簡単な語句や基本的な表現を用いて、互いの考えを伝え合っている。	「話すこと（発表）」(ウ) 「 <u>同上</u> 」簡単な語句や基本的な表現を用いて、互いの考えを伝え合おうとしている。
「読むこと」「書くこと」 ※本単元における「読むこと」「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。			

単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
新しい ALT の先生に甲佐町の魅力を伝えるため、自分がおすすめしたい甲佐町の食材や産地・オリジナルメニューについて、必要な語句や表現を使って、相手に伝わるよう工夫して表現する児童			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
新しい ALT の先生に甲佐町の魅力を伝えるため、おすすめ食材を使ったオリジナルメニューを紹介しよう！		英語で表現する食材や産地の言い方などを踏まえて、伝えたり尋ねたりする内容や表現を工夫すること。	
指導計画と評価計画（8時間取扱い 本時6/8）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○単元のゴールを確認する。 ○食べたものやそれらの産地についてのやり取りの言い方を知る。 ○食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについての言い方を知る。	「聞くこと」(ウ) 【知】（ワークシート、行動観察） 「話すこと（発表）」(ウ) 【知】（行動観察、タブレット）
二	2	○食べ物とその産地について伝え合う。 ○食べ物がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合う。	「聞くこと」(ウ) ★【思】（ワークシート、行動観察）
三	3	○紹介したい甲佐町の食材&オリジナルメニューを決め、やり取りをする。 ○自分で考えた甲佐町の食材&オリジナルメニューをもとに、食材の栄養素やグループについて伝え合ったり反応したりする。【本時】 ○甲佐町の魅力発表会を行う。	「話すこと（発表）」(ウ) ★【思】（行動観察、タブレット） 「話すこと（発表）」(ウ) ★【態】（行動観察、振り返りカード）
四	1	○日本と世界の食料事情を知り、世界と日本の文化について考える	「聞くこと」(ウ) ★【態】（行動観察、振り返りカード）

② 研究の視点

授業づくりの視点についての取組	
①コミュニケーションへの興味・関心や意欲を高める単元の学習課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・「甲佐町の魅力を伝えるために、おすすめ食材を使ったオリジナルメニューを紹介しよう！」という単元のゴールを設定し、自分が紹介したい題材を選ぶことで、学習に対する意欲と見通しを持たせる。 ・総合的な学習で取り組む「甲佐町歴史パンフレット作り」と連動し活動を進めていくことで、甲佐町のよさを伝えるという意欲の持続につなげる。さらに、新しい ALT の先生に伝えるという相手意識を持たせることで、発表への必要感をもち活動できるようにする。 	
②外国語に十分慣れ親しんだり、知識・技能を定着させたりする活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・甲佐町の食材をもとにしたチャンツやカードを作成し、児童にとってより身近な食材やメニューの言い方に慣れることができるようにする。 ・簡単なやり取りの仕方をワークシートで確認した上で、一人一人が理解した上でペアや全体で発表するという活動を繰り返すことで、やり取りの確実な定着を図る。 	
③言語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の small talk では、甲佐町の食材や実際に食べたメニューを紹介しながらやり取りを行うことで、児童の興味・関心を引き付けるとともに、自分も紹介したいという意欲をもって活動に臨むことができるようにする。 ・毎回の授業内容を教室掲示し、既習事項がいつでも意識できるようにする。授業でも取り上げることで、児童自身が必要な単語や文章を自分で選択し、やり取りや発表に活用できるようにする。 	
④振り返りの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間を振り返ることができるカードを活用し、単元のゴールを見通しながら、毎時間ごとに自分の課題や成長を自覚できるようにする。 ・児童の振り返りの内容は本時または次時の授業で紹介し、全体で共有することで、友達の気付きやがんばりに気付くとともに、互いのやり取りに興味をもって関わることに繋がられるようにする。 	

③ 本時の学習

ア 目標

発表するときに意識するポイントを考えるを通して、反応の仕方や食材の説明の仕方を考え、甲佐町のおすすめ食材を使ったオリジナルメニューをよりわかりやすく伝え合うことができる。

イ 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ・ Chant ・ Let's sing ◇食材&メニューはもうすらすら言える！</p> <p>2 教師のデモンストレーションを見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Hello. This is the Chiese chives. The Chiese chives is in the green group. B: I see. (ジェスチャー) A: The Chiese chives is from Kosa. Do you like "Niramenko" ? B: Yes. A: ★It' s 180 yen. B: O. K. Thank you.</p> </div>	<p>○カードやリズムに合わせてテンポよく発話するよう促す。 ○「おすすめ食材&オリジナルメニュー」についての教師の話聞き、既習表現や対話を続けるための基本的表現等を想起できるようにする。</p> <p>○デモンストレーションを見ることで、本時のめあて及び活動を確認できるようにする。 ○ジェスチャーや反応の仕方、紹介カードを活用し、教師のデモンストレーションの様子が児童自身の発表とつなげて捉えられるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】「おすすめ食材&オリジナルメニュー」のよさが伝わる発表にチャレンジしよう</p> </div>			
展開	30分	<p>3 Activity 1 ①一人で言い方を確認しながら練習する。 ◇「Do you like～」は私も使えそうだな。 ◇私もメニューの値段を言ってみよう。 ②班(3人)で発表し合う ・やり取りの中での工夫を考える ◇値段のやりとりの仕方をもっと練習しよう。 ◇聞く人もうなずいたり「I see.」と反応したりすればいいんだ。</p> <p>4 Activity 2 ①班をシャッフルして、一人ずつ発表し合う。 →やり取りのよさを出し合う。 ◇紹介カードを指し示しながら発表しているから、とてもわかりやすい。 ◇桃が甲佐町で作られていることは、観光客の人にももっと知ってほしいな。 ◇反応するとき、「me too」と言ってもらえてうれしかった。 ②全体で発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【期待される学びの姿】 相手に応じて、自分が考えたおすすめ食材&メニューを紹介したり、これまで学習した表現を使って、質問したり反応したりしようとしている。</p> </div>	<p>○一人で練習する中で生まれた疑問をペアや全体で振り返り、児童の言葉で伝え方を確認するようにする</p> <p>○活動で分からなかった英語表現などを共有し(値段の聞き方、答え方など)、全体で考えたりALTに尋ねたりしながら解決することで、次の活動への意欲を高める。 ○反応の仕方のバリエーションを掲示で示し、自分が使いたい表現を児童が自分で選択できるようにする。</p> <p>○「おすすめ食材&オリジナルメニュー」のよさが伝わるやり取りにすることを意識させ、伝え方の工夫に気付くようにする。 →実践できている班取り上げ、全体でよさを共有する。</p> <p>○ペアや班でのやり取りを複数回体験させ、発表への意欲を持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【具体的評価規準】 【話すこと(発表)】(ウ) 思 ○おすすめ食材&オリジナルメニューを伝えるために、説明を付け加えたり反応をしたりして、自分なりに工夫して伝え合おうとしている。(行動観察、紹介カード) 【話すこと(発表)】(ウ) 態 ○おすすめ食材&オリジナルメニューを伝え合うために、その栄養素や産地などについて進んで伝え合っている。(行動観察、振り返りカード)</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】 ○モデルを振り返ったり、板書しているキーワードを示したりして、やってみたいやり取りを具体的に選べるようにする。</p>
終末	5分	<p>5 学習のまとめ、振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇産地を尋ねる言い方がまだうまく言えない。次は言えるようになりたい。 ◇聞いてくれる人がたくさん反応してくれたから、もっと伝えたいと思った。 ◇○○ちゃんに笑顔とうなずきで反応してもらえてうれしかった。次は私もやってみよう。</p> </div>	<p>○英語でやり取りをしたことでの気付きや、自分の学びを振り返っての感想などを振り返りカードに記入し、発表し合うことで学びを共有する。</p> <p>○教師は児童の活動の様子を振り返り、よさに価値づけをし、次に生かすアドバイスを伝える。</p>